

奈井江町まち・ひと・しごと創生総合戦略
進捗管理シート（効果・検証）

令和元年 6 月

奈 井 江 町

奈井江町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進管理について

《推進管理》

総合戦略を実効的に推進していくため、4つの基本目標に設定した「数値目標」と各施策の効果を検証するために設定した「重要業績評価指標（KPI）」の達成状況、施策の効果等の検証を行い、次年度以降の事業や方向性を検討する「PDCAサイクル」を実施します。

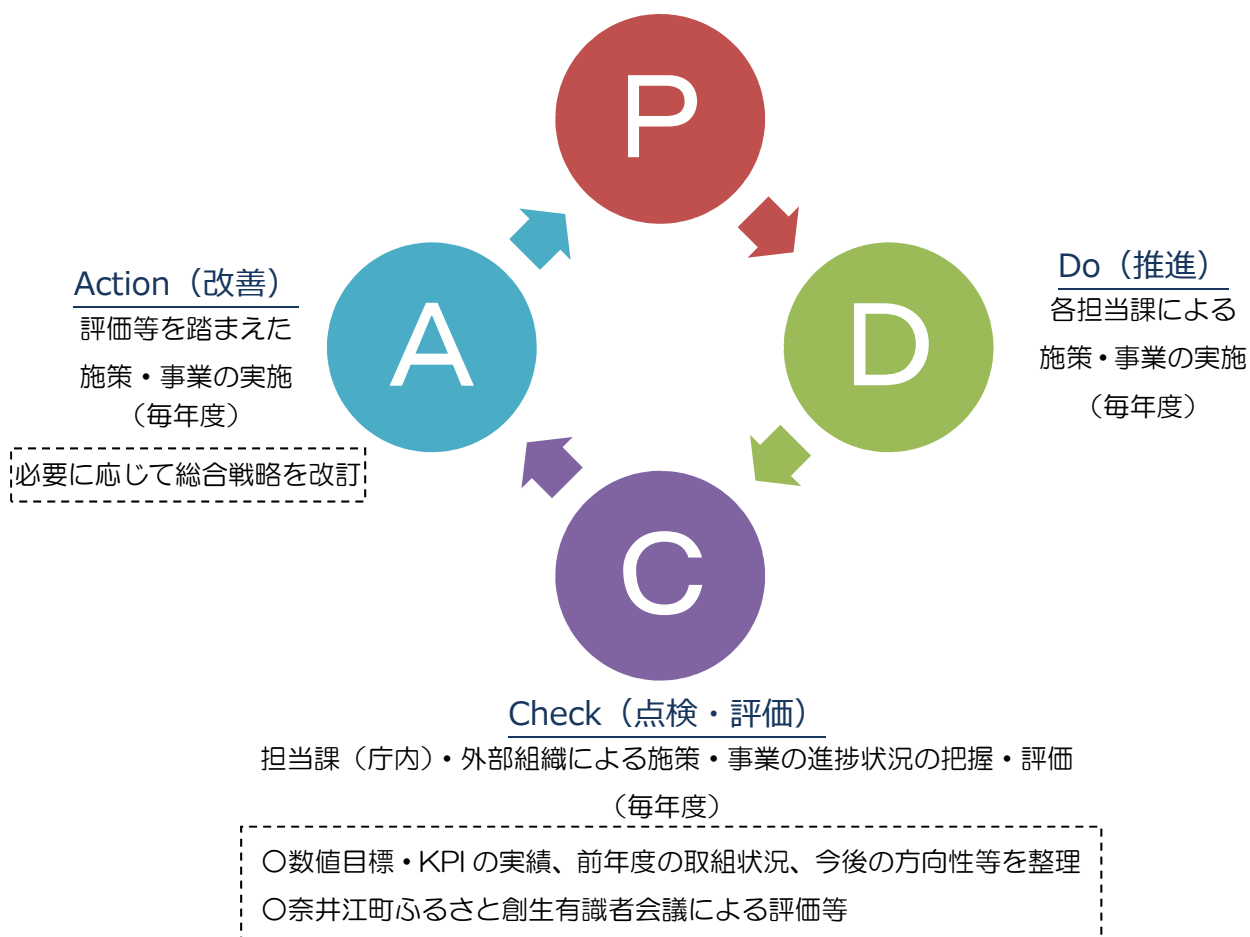
実施にあたっては、毎年度終了後、各担当課において施策の取組状況やKPIの達成状況、課題等について把握をした上で、次年度以降の方向性等の検討を行います。（結果は、別紙「進捗管理シート」のとおり）

これらの内容について「奈井江町ふるさと創生有識者会議」に報告し、意見等を伺うとともに、その結果等を踏まえ「奈井江町ふるさと創生本部会議」において協議・検討を行い、翌年度以降の取り組みに繋げるものとします。（必要に応じて総合戦略の改訂を実施）

《PDCAサイクルのイメージ》

Plan（戦略策定）

奈井江町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定・公表（平成28年2月）



奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| | | | | | | | | |
|------|---|-------------------|--------------|--------------|--------------|---------------------|-------------------|----------------------|
| 基本目標 | ①新たな活力を生み出す「しごと」づくりを目指す | | | | | | | |
| | 本町の基幹産業である農業の振興とともに、地域の優位性でもある豊かな自然と地域資源を活かした産業振興を推進し、若い世代にとって「魅力」や「やりがい」のある仕事を創出し、安定した雇用の確保を目指します。 | | | | | | | |
| 数値目標 | 指 標 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 数値目標 (H31) | 達成度 |
| | 若者の雇用創出数 | 36人 (H22~26平均) | 47人 (H27) | 31人 (H28) | 51人 (H29) | 43.5人 (H27~30平均) | 36人 (H27~31平均) | 120.8% (H27~30平均) |

| | | | | | | | | |
|--------|----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 基本的な方向 | (1)ともに支えあい、いきいきとした就労の場をつくる | | | | | | | |
|--------|----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | | | | |
|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H29:H31) |
| | 障がい者雇用に対する助成件数 | 0件 | 0件 | 0件 | 1件 | 2件 | 1件 (5年間) | 200% |
| | 地域おこし協力隊隊員数 | - | - | 1名 | 1名 | 1名 | 2人 (5年間) | 50% |

| | | | | | | | | |
|--------|-----------|---|--|--|--|--|-----|---------|
| 具体的な施策 | 施策 | ① 障がい者短期就労パワーアップ事業 | | | | | 担当課 | おもいやり課 |
| | 30年度の取組状況 | 町内の企業、JA、商工会に事業のPRを行い、障がい者雇用への理解、本事業の利用促進を行った。昨年度より、障がい者雇用に継続している企業より、2件の申請があり交付を行った。 | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 引き続き、企業に対し障がい者雇用への理解を求めるとともに、本事業の利用促進に向けたPRを障がい福祉フォーラム等を通じて継続的に行い、障がい者の自立のため雇用の促進を図っていく。 | | | | | | |
| | 施策 | ② 地域おこし協力隊活用事業 | | | | | 担当課 | 健康ふれあい課 |
| | 30年度の取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・28年10月から採用してきた地域おこし協力隊は、29年11月で退任。29年12月から新たな協力隊1名を採用し活動を継続している。 ・コミュニティカフェの運営管理を臨時職員2名と実施。 ・地域おこし協力隊活動～お茶会(4回)、つば講座(1回)をカフェを活用しながら交流の場を提供するとともに、世代間が交流できる仕掛けづくりや高齢者の引きこもり防止につながる取組みなどを展開している。 | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 令和元年より、地域おこし協力隊は2名体制となる。他臨時職員1名にて、コミュニティカフェの活動を通して、高齢者の閉じこもり予防、多くの人が集まる、流れを意識した地域活力が高まる空間づくりに取り組むとともに、将来的な地域への定着を目指した活動の支援を継続実施。 | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | (2) 次世代につながる強い農業づくりを推進する | | | | | | | | |
|----------------|--|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|--|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | 良食味米(ゆめぴりか低タンパク米)の出荷数量 | 445t | 1,028t | 1,002t | 2,159t | 57t | 1,440t | 4.0% | |
| | 特別栽培米作付面積 | 172.9ha | 260.2ha | 327.3ha | 406.0ha | 421.0ha | 500ha | 84.2% | |
| | 農業生産法人化件数 | 16件 | 18件 | 20件 | 18件 | 19件 | 19件 | 100.0% | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 良食味米の安定生産と生産体制の強化 | | | | | 担当課 | ふるさと農政課 | |
| | 30年度の取組状況 | <p>食味米の安定生産のために生産資材購入支援の実施、生産基盤整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農地面積1,234.9ha(うちゆめぴりか558.7ha) ○生産資材購入実績 ケイ酸資材(500円/10a)79戸 443ha いもち病予防剤(1,000円/10a)76戸 434ha ○生産基盤整備実施地区 殿島: 附帯工一式、殿島南: 区画整理附帯工一式 暗渠排水工 5.4ha 用水路附帯工一式 排水路工 L=439m 京極南: 用水路、排水路、農道工附帯工一式 茶志内東1: 区画整理工 8.3ha、暗渠排水工 8.3ha 用水路工 L=545m 排水工 L=187m | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | <p>30年産の水稲の作況については、春先の日照不足と低温により、生育が停滞したことにより、作況指数も90の不良となりました。天候に左右されない安定した生産技術の確立が求められている。</p> <p>今後も品質管理や作業効率の向上など、「産地強化」と「売れる米づくり」の推進を図り、良食味米の安定生産に向けた支援を継続していく。</p> | | | | | | | |
| | 施策 | ② 特別栽培米(減農薬栽培米)の取組推進 | | | | | 担当課 | ふるさと農政課 | |
| | 30年度の取組状況 | <p>環境保全型農業への支援の実施</p> <p>JA新すなごわ特別栽培米生産組合:49戸</p> <p>取組基準: 農薬⇒慣行栽培の半分 肥料⇒化学成分量が慣行栽培の半分</p> <p>支援内容: フェロモントラップ(6,000円/10a)、カバークロープ(8,000円/10a) 水稲種籾温湯殺菌消毒施設利用料助成 30円/kg</p> | | | | | | | |
| 今後の方向性等 | <p>取り組みが浸透してきており、本年度も目標達成に向けて順調に推移しており、現在の支援を継続して行っていく。</p> <p>また、水稲種籾温湯殺菌消毒施設の利用促進により、安心・安全な米作りを目指し、作付面積の増加を図る。</p> | | | | | | | | |

| | | | | |
|----------------|-----------------|--|-----|---------|
| 具 体 的 な 施 策 | 施 策 | ③ 農産物販路拡大の推進 | 担当課 | ふるさと農政課 |
| | 30年度の 取組状況 | 農業担い手育成基金（異業種交流等助成事業）を活用し、生産団体に米の販路拡大とPR活動を行った経費に対して、助成を行う。 | | |
| | 今後 の 方向性等 | 米の生産地として、当地域の強みである特別栽培米・良食味米のPR強化を行い、農協と連携を図りながら、販路拡大に努める。 | | |
| | 施 策 | ④ 農業後継者の育成や法人化の促進 | 担当課 | ふるさと農政課 |
| | 30年度の 取組状況 | 農業経営規模拡大農家へ農業機械・設備の導入支援 ～2経営体（国の事業：強い農業づくり事業） 新規就農者 ～ 農業後継者 4名 法人化 ～なし | | |
| | 今後 の 方向性等 | 法人化については、横ばいで推移しており、農業後継者4名を除く新規就農者はいない状態が続いている。今後も農協・普及センター等の関係機関と連携強化を図りながら、農業後継者育成等への支援を行っていく。 | | |
| | 施 策 | ⑤ 6次産業化・特産品の開発等の検討 | 担当課 | ふるさと農政課 |
| | 30年度の 取組状況 | 酒米品種「彗星」の作付を行い、新十津川町の金滴酒造と連携して純米吟醸酒「ないえ彗星」と生原酒「奈井江すいせい」の2種類を製造し、奈井江町や砂川市を中心に近隣市町で販売した。 | | |
| | 今後 の 方向性等 | 純米吟醸酒「ないえ彗星」と生原酒「ないえ彗星」の2種類のお酒については、今後も継続して販売するとともに、ふるさと応援寄付金の返礼品としても活用しているので、町の特産品として根付くようホームページ等でPRしていく。 また、農協が広域農協であるため、推進体制や設備が整っている砂川市の特産品開発の事例を参考にしつつ、農協と協議を行い、今後も地域資源を活かした特産品の開発を模索していく。 | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | (3) 立地企業への支援や企業誘致を推進する | | | | | | | | | |
|----------------|--|---|-----------|-----------|------------|-----------|--------------------------|--------------------|------|--|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | | |
| | | 新規保証融資件数 | 3件 | 12件 | 1件 | 3件 | 24件 (4年間) (H30 8件) | 10件 (5年間) | 240% | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 中小企業振興保証融資や相談支援 | | | | | 担当課 | ふるさと商工課 | | |
| | 30年度の取組状況 | ①保証融資利子補給（利息の年利1.5%分までを上限）、保証料補給（保証料の1/2） 保証融資件数8件、利子補給延べ19事業者 ②相談支援：実績なし | | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 中小企業の活用も進み、事業効果も現れていることから、今後も継続して事業を行っていくが、さらなる事業促進を図るため、地元金融機関と連携し、保証融資、利子補給の活用を周知するとともに、北海道、中小企業支援センターとも連携しながら、相談支援を行う。 | | | | | | | | |
| | 施策 | ② 新規立地企業や事業拡大に対する企業支援 | | | | | 担当課 | ふるさと商工課 | | |
| | 30年度の取組状況 | 投資額に対する助成 | 0件 | | 用地取得に対する助成 | 0件 | | 雇用者に対する助成 | 0件 | |
| | 今後の方向性等 | 立地企業との連携を深めながら、事業拡大への取組支援として事業を継続するとともに、企業誘致活動と一体的に本制度の周知を行っていく。 | | | | | | | | |
| | 施策 | ③ 空知団地を中心とした企業誘致の推進 | | | | | 担当課 | ふるさと商工課 | | |
| | 30年度の取組状況 | データセンター展（春）への出展 企業等誘致訪問活動（道外5社・団体、町内5社） | | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 美唄市と連携した誘致活動（企業誘致推進会議の活動として） 町独自の活動（道東京事務所、中小機構とも連携） ※ 道東京事務所等を通して企業側から照会があった場合は、町独自に誘致活動を行っていく。 | | | | | | | | |
| | 施策 | ④ 遊休公共施設を活用した企業誘致の推進 | | | | | 担当課 | ふるさと商工課 健康ふれあい課 | | |
| 30年度の取組状況 | 旧江南小学校において、社会福祉法人日本介護事業団が小規模多機能居宅介護事業を開設するにあたり、介護サービス提供基盤等整備事業の活用により、補助金を交付した。 | | | | | | | | | |
| 今後の方向性等 | 無償譲渡した旧江南小学校を含め、奈井江町のトータル・サポート・ケアシステムが一層推進していく。 | | | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| | | | | | | | | |
|------|---|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|------------------|
| 基本目標 | ②奈井江町に新たな「ひと」の流れをつくる | | | | | | | |
| | 町内立地企業従業員の若者や子育て世代をターゲットにした定住施策を中心に展開するとともに、広大な自然や豊かな食など、本町の優れた地域資源を町内外に広く発信し、都市地域から田舎暮らしを望む移住希望者に対応した移住体験など新しいひとの流れを創出します。 | | | | | | | |
| 数値目標 | 指 標 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 数値目標 (H31) | 達成度 (H30:H31) |
| | 転入者数 | 153人 | 180人 | 145人 | 150人 | 170人 | 166人 | 102.4% |

| | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|
| 基本的な方向 | (1) 奈井江町への移住・定住対策を推進する | | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 |
| | 民間賃貸住宅家賃助成件数 | - | 25件 | 28件 | 29件 | 42件 | 35件 (年間) | 120% (年間) |
| | 新築・中古住宅購入助成件数 | - | 18件 | 36件 (18件) | 62件 (29件) | 86件 (24件) | 65件 (5年間) | 132.3% (H27~30平均) |
| | サービス付き高齢者向け住宅への移住者数 | - | - | 16人 | 18人 | 15人 | 26人 | 57.7% (H30:H31) |
| 30年度の取組状況 | ①新築住宅購入助成 最大300万円の助成 8件 ②中古住宅購入助成 最大200万円の助成 16件 ③民間賃貸住宅家賃の助成 最大月1万円を5年間助成(若年19件・子育て世帯23件) 平成30年度新規 15件 ④共同住宅建築助成 一般アパート 最大1,300万円 4棟26戸 | | | | | | | |
| 今後の方向性等 | 平成27年度から事業を展開しており、転入者数は、若干増加傾向にある。中でも、子育て世帯の転入が増加しており、乳幼児の転入者増にもつながり小学校の入学者数は出生者数より多くなっている。また、年度ベースの転入・転出状況を見ると、炭鉱閉山依頼社会減が続いているが、平成30年度末では、社会増に転じた。 この結果を見ると、これまでにない現象がおきており、施策の効果が大きいことから、今後も継続していきたい。 | | | | | | | |
| 施策 | ② 移住・定住PR事業 | | | | | | 担当課 | まちづくり課 |
| 30年度の取組状況 | ・新聞への折り込み広告 2回実施(4・6月)(浦臼・砂川・滝川・上砂川・美唄・歌志内) 22,000部 ・プレス空知広告掲載 1回 ・芝桜まつりにて移住・定住ブースを設置し、若年・子育て世帯へのPRを実施 ・東京でのシティブロモーションの実施 | | | | | | | |
| 今後の方向性等 | 移住・定住促進事業と併せ、一定の効果が現れていることから、当面、現在の事業を継続していくとともに、中空知定住自立圏や空知総合振興局との連携事業によるPRイベント等についても継続して行い、さらなる充実を図る。 現協力隊1名については、東京でのイベント参加者であり、ホームページでの募集ではなかなか応募のない部分をプロモーションで補うことができ、数は少ないが効果が出ていることから、継続していきたい。 | | | | | | | |
| 施策 | ③ 移住体験住宅の設置 | | | | | | 担当課 | まちづくり課 |
| 30年度の取組状況 | 平成27年度 お試し移住用住宅を整備。 平成28年度以降は、お試し移住用住宅として適正な維持管理を行った。 | | | | | | | |
| 今後の方向性等 | お試し移住用住宅としていつでも受け入れができるよう、適正な維持管理を継続して行ってきたが、利用者数もないに等しい状況。 また、本来の目的である移住に繋がっていないことから、お試し移住のあり方を検討する。 | | | | | | | |

| 具体的な 施策 | 施策 | ④ お試し移住事業 | 担当課 | まちづくり課 |
|------------|---------------|--|-----|--------------------|
| | 30年度の 取組状況 | 27年度に整備した南町旧教職員住宅を活用し、28年度から新たに多くの「ひと」に奈井江町を知ってもらうためのPRとして移住体験事業を実施。 ・短期から中長期の移住体験（2泊3日以上） ・滞在期間中、まちのイベントの参加や町内施設利用、農産物のPR等を行う。 ・事業期間 5月上旬から1月まで ・利用料金 2泊3日 1,082円/人（とわに） 延泊（日額） 718円/人（ないえ） 【平成28年度の実績】 5月6日から6月18日まで（44日間） 岡山県 女性1名 【平成29年度の実績】 9月29日から10月3日まで（5日間） 神奈川県 女性1名 【平成30年度の実績】 なし | | |
| | 今後の 方向性等 | 引き続き、ホームページでの周知及びシティブロモーションなどを実施し、事業のPRを継続的に行ってきたが、本来の目的である移住に繋がっていないことから、お試し移住のあり方を検討する。 | | |
| | 施策 | ⑤ 情報発信の強化 | 担当課 | まちづくり課 |
| | 29年度の 取組状況 | 【平成28年度】 ・「北海道空知地域創生協議会」及び「なかそらち会議」において、PR動画やパンフレット、HPなどを作成。 ・奈井江町のPR動画やパンフレットも作成し、町のHPや移住定住サイトへ掲載。 【平成29年度】 ・ふるさと回帰フェア（東京国際フォーラム）9月10日 ・全国町村会「町イチ!村イチ!2017」（東京国際フォーラム）12月2・3日 ・そらち・デビューフェアin札幌（札幌）12月17・18日 ※そらち・デビューフェアin札幌（東京代々木公園野外音楽堂前広場）9月28日～10月1日 パンフレット等のみ設置 ※ふるさと回帰支援センター、札幌観光案内所、ポールスター札幌、札幌ビール園、高速道路野幌PA 北海道魅力発信プロジェクト（4回）、北海道U・Iターンフェア2017秋などで移住促進バンプを配架 【平成30年度】 ・さくら祭りPRと併せた移住・定住PR（札幌駅）4月 ・JOIN移住・交流&地域おこしフェア2019（東京ビックサイト）1月20日 ・そらち・デビューフェアin札幌（札幌）7月31日～8月1日 ※そらち・デビューフェアin代々木（東京代々木公園野外音楽堂前広場）10月6日～10月7日 北海道魅力発信プロジェクト（4回）等 | | |
| | 今後の 方向性等 | ・空知総合振興局を中心としたまちのPR事業（首都圏や都市部でのイベント開催等）は、取り組み内容も含め、空知全体でそのあり方を検討。 ・定住自立圏の圏域市町によるPR事業（首都圏や都市部でのイベント開催等） 首都圏や都市部でのPRについては、単独市町での取り組みがイベント規模的に難しい状況であるため、できるだけ広域的な取り組みで実施する方向で管内市町とも協議を進めたい。 | | |
| | 施策 | ⑥ 奈井江版CCRC（生涯活躍のまち）構想の推進 | 担当課 | 健康ふれあい課 ふるさと創生課 |
| | 30年度の 取組状況 | ラウンジ（地域交流拠点）を活用し、入居者対象のお菓子づくりを定期的に開催するとともに、かおる園横の畑を家庭菜園として入居者に解放している。また、入居者や入居者の家族を対象にミニコンサートも実施し、入居者同士の交流に努めた。 | | |
| | 今後の 方向性等 | 依然、入居者の健康状態の善良な方の入居者少ないことから、サ高住入居者を活用した構想の策定ができない状況。今後も状況が急展開する可能性が低いことから、新たな方向性の模索をしていく。また、入居者が施設内に留まらないような取組の仕組みづくりも行う必要がある。 | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| | | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|--|
| 基本的な方向 | (2) 活気のあるイベントの開催を推進する | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | コンチエルトホール利用人数 | 1,100人 | 1,031人 | 1,141人 | 1,078人 | 963人 | 1,600人 | 60.2% | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① コンサート等の開催 | | | | | 担当課 | 教育委員会 | |
| | 30年度の取組状況 | <p>自主事業を含め5つのコンサートを開催。</p> <p>昨年度より来場者数が減少となったが、事業本数を2本減としたことによる影響と考える。</p> <p>1事業あたりの集客平均数は192名（前年度平均154名）となり昨年度よりも伸びており、町外からの問い合わせも多くあった。</p> <p>事業内容により、来場者数の変動が大きかった。</p> | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | <p>①中学生を対象とした芸術鑑賞会は内容を検討し継続して開催していく。</p> <p>②コンサート開催時のアンケート結果から町民ニーズを把握しながら、幅広いジャンルを提供するよう事業を展開していく。</p> <p>③町内外から多くの人に来場してもらえるよう、ホームページなどSNSを活用し広報を展開していく。</p> | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | (3) 独身者の出会いのきっかけづくりを推進する | | | | | | | | |
|----------------|--------------------------|--|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|------------------|--|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 | |
| | 結婚活動事業参加者の婚姻件数 | 1組 (実績累計) | 0組 (実績累計) | 0組 (実績累計) | 0組 (実績累計) | 0組 (実績累計) | 2組 (5年間) | 0% (H27~31累計) | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 結婚活動事業の開催 | | | | | 担当課 | 農業委員会 | |
| | 30年度の取組状況 | ■ 婚活事業の開催 (婚活セミナー・ゲーム・交流会) ・事業名: 恋活Xmasパーティー ・日時: 平成30年12月16日(日) ・場所: 文化ホール ・参加者数: 22名 (男性10名、女性12名) ※定員は男女各15名ずつ ・マッチング数: 2組 | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | ・参加者にとってクリスマス時期が参加しやすい傾向にあると考えられるため、令和元年度もクリスマス時期に「恋活Xmasパーティー」を開催する予定。 | | | | | | | |
| | 施策 | ② 結婚活動希望者に対する情報発信 | | | | | 担当課 | 農業委員会 | |
| | 30年度の取組状況 | ・北海道コンカツ情報コンシェル発行の「婚活者向けコミュニケーション講座参加案内」リーフレットを登録者 (男性17名) へ送付。 ※年1回の案内 (リーフレットに年度分の講座案内が掲載されているため) | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | ・例年、参加者は適正人数を確保できているため、今後も下記のとおり開催PRを継続していく。 ○ 婚活事業の周知方法 ① 北海道コンカツ情報コンシェルホームページ ② 町ホームページ ③ 広報ないえ ④ 近隣市町の公共施設やお店等にポスター等の掲示依頼 ⑤ 北海道新聞とプレス空知に掲載を依頼 | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | (4) 中心市街地活性化を推進する | | | | | | | | |
|----------------|-------------------|---|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | | 中心市街地歩行通行量 | 465人/日 (定点調査) | 379人/日 (定点調査) | 580人/日 (定点調査) | 395人/日 (定点調査) | 331人/日 (定点調査) | 630人/日 (定点調査) | 52.5% |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 多機能型交流施設整備への支援 | | | | | 担当課 | ふるさと商工課 | |
| | 30年度の取組状況 | 多機能型交流施設において、次の取り組みを実施 ・特定健診、がん検診PR活動及び受付窓口 | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 町・商工会、農協が連携し、多機能型交流施設を活用していく。 | | | | | | | |
| | 施策 | ② 中心市街地活性化交流事業 | | | | | 担当課 | ふるさと商工課 | |
| | 30年度の取組状況 | 多機能型交流施設において、次の取り組みを実施 ・特定健診、がん検診PR活動及び受付窓口 | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 多機能型交流施設を整備し、施設を活用した事業を展開してきたことで中心市街地への人通りが増加するなど一定の効果が現れたことから、30年度の事業を継続して行っていくとともに、町・商工会・農協と連携しながら、新たな事業展開を検討していく。 ・商店街の売り出し等のイベントを商工会と農協との連携により実施 ・特定健診・健康診断の臨時受付窓口、地場産品を使った食の啓発を実施 ・文化ホールにおけるコンサートや催し物との連携事業を実施 など | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| | | | | | | | | |
|------|--|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------------|------------------|
| 基本目標 | ㊦安心して子育てができる「まち」づくりを目指す | | | | | | | |
| | 若い世代の「結婚して子どもを産み育てたい」という希望をかなえるため、結婚・妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。 | | | | | | | |
| 数値目標 | 指標 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 数値目標 (H31) | 達成度 (H30:H31) |
| | 合計特殊出生率 | 1.15 (H20~H24) | - | - | - | - | 1.37 (H25~H29) | - % |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|---|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------------|--|
| 基本的な方向 | (1) 健やかに産み育てる環境・体制整備を充実させる | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 | |
| | 認定こども園待機児童数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 100% (H30:H31) | |
| | 不妊治療費助成件数 | - | - | 1回 | 6回 (5回) | 9回 (3回) | 6回 (累計) | 116.7% (累計) | |
| 具体的な施策 | 施策 | ㊦ 第3子以降の出生負担の軽減 | | | | | 担当課 | おもいやり課 | |
| | 30年度 の取組状況 | 1. 子育て世代の経済的負担を軽減するため、第3子以降は認定こども園の保育料無料を継続 はぐみ保育料の軽減額～ 集計10,202,650円 (内第3子以降分は 集計15人で集計5,807,240円) 2. 学童保育料第3子以降無料化を継続 減額金額151,600円 対象者6人 3. 学校給食費の第2子以降無料化を実施 小学生 75人-3,251,497円 中学生43人-2,472,610円 | | | | | | | |
| | 今後の 方向性等 | 1. 子育て世代の経済的負担を軽減するため、第3子以降は認定こども園の保育料無料を継続 (令和元年10月より実施予定の幼児教育・保育の無償化は、主に3～5歳児が対象) 2. 学童保育料第3子以降無料化を継続 | | | | | | | |
| | 施策 | ㊦ 子ども医療費の助成事業 | | | | | 担当課 | おもいやり課 | |
| | 30年度 の取組状況 | 奈井江町の子育て支援策の要となる事業として、平成29年度と同様の事業を実施。 1. 子ども医療費助成の拡充 (高校生まで全額助成) 2. 重度心身障がい者の医療費の拡充 (非課税世帯と高校生まで全額助成) 3. ひとり親家庭等医療費の拡充 (非課税世帯 (親は入院費のみ) と、高校生まで全額助成) | | | | | | | |
| 今後の 方向性等 | 医療費の助成は平成22年度 小学生、平成23年度 中学生、平成26年度に高校生まで町単独事業として拡大してきた。 奈井江町の子育て支援は、複合的に実施することで効果を発揮しているものと捉えており、子ども医療費助成はその要となる事業であることから今後も継続していく。 | | | | | | | | |

| | | | | |
|---------------|---|---|---------|---------|
| 具体的な 施策 | 施策 | ③ 子育て支援施設の充実 | 担当課 | おもいやり課 |
| | 30年度の 取組状況 | <p>○児童厚生員と放課後児童支援員の確保に向け、町広報誌及びチラシによる周知と、ハローワークへの求人登録を行い募集を実施。</p> <p>○妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援をより一層充実させるため、「子育て世代包括支援センター」機能のあり方について検討を実施。</p> <p>○子育て支援センターの各種事業を通じ、子育て相談・支援を実施。</p> <p>○要保護児童、要支援児童等の対応と支援。</p> | | |
| | 今後の 方向性等 | <p>1. 子育て世代包括支援センターの開設・PR及び関係機関との連携方法の構築</p> <p>2. 子育て世代包括支援センターを通じた、幼児教育・保育ニーズの把握</p> <p>3. 要保護児童、要支援児童等の対応と支援。</p> | | |
| | 施策 | ④ 不妊治療費負担軽減事業 | 担当課 | 健康ふれあい課 |
| | 30年度の 取組状況 | <p>【助成内容】</p> <p>助成回数の上限 1夫婦 通算6回まで</p> <p>助成額の上限 1回15万円（排卵を伴う場合） 1回7万5千円（排卵を伴わない場合、又は中止した場合）</p> <p>【助成実績】</p> <p>・助成件数 3件 3回</p> <p>・助成額 45万円</p> <p>ホームページ、広報、公共施設等でのポスター掲示、チラシの配布、滝川保健所における事業紹介等にて事業PRを実施</p> | | |
| | 今後の 方向性等 | <p>○特定不妊治療費は、採卵を伴う治療が特に高額であり、北海道における助成額を控除してもまだまだ自己負担が大きいため、北海道の助成事業に合わせ、初回治療のみ30万円助成に拡大して実施していきたい。</p> | | |
| 施策 | ⑤ 妊娠期の負担軽減 | 担当課 | 健康ふれあい課 | |
| 30年度の 取組状況 | <p>妊婦一般健康診査費用の助成（14回分/人） 実績延べ数 260回</p> <p>超音波検査費用の助成（6回分/人） 実績延べ数 116回</p> | | | |
| 今後の 方向性等 | <p>○妊娠期の経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できるよう施策を展開することで、出生率の維持につながることを考えることから、転入・転出等の漏れがないよう管理を行いながら、これまでと同様の事業を継続して行っていく。</p> | | | |

| | | | | |
|------------------|--|---|-----|---------|
| 具 体 的 な 策 施 | 施 策 | ⑥ 妊産婦を対象とした相談体制の整備 | 担当課 | 健康ふれあい課 |
| | 30年度の 取組状況 | <p>ママ友クラブ（妊産婦交流会） 実績 2回（妊婦5名、産婦3名、乳児3名、幼児3人） 周知～個別通知及び電話勧奨</p> <p>妊産婦健康・栄養相談 実績延べ数82人 妊婦訪問 実績延べ数10人 産婦訪問 実績延べ数31人</p> | | |
| | 今 後 の 方 向 性 等 | <p>○ママ友クラブは、製作や調理実習試食を通じて参加者同士の交流が深まり、特に初産の妊娠期の不安や育児不安の解消と仲間づくりにつながっているが、対象者も少なく、就労妊婦も多いため参加者はほぼ横並びだった。今後も開催時期等参加しやすい体制を検討していきつつ、訪問や面接等個別支援も継続強化していきたい。</p> <p>○妊婦の健康・栄養相談は、妊婦健診の結果等より貧血や高血糖、高血圧等健康課題のある妊婦もいるため、健診結果と併せて今後も必要な妊婦に支援を充実させていきたい。栄養相談は、母子健康手帳申請時に栄養アンケート実施し、その内容を元に妊娠中期に栄養士より連絡し個別栄養相談実施しており、今後もきめ細かい支援を実施していきたい。</p> <p>○妊婦訪問は経産婦は希望しない場合もあるが、今後も初妊婦は積極的に訪問し、出生前からの切れ目ない支援を継続して行っていく。</p> | | |
| | 施 策 | ⑦ 乳幼児期の健康診断や相談体制等の充実 | 担当課 | 健康ふれあい課 |
| 30年度の 取組状況 | <p>新生児訪問（乳幼児全戸家庭訪問事業） 実績 17人（22人） 乳児健診 実績 6回（延べ数67人 83.3%） ベビースクール 実績 6回（延べ数49人 46.2%） 1歳6か月児健診 実績 6回（延べ数30人 100%） 3歳児健診 実績 6回（延べ数29人 96.7%） 5歳児健康相談 実績 12回（延べ数33人 100%） 親子クッキング教室 実績 1回（延べ数28人） 健康・栄養相談の実施 実績延べ数282人</p> | | | |
| 今 後 の 方 向 性 等 | <p>○1歳6か月児、3歳児健診は例年ほぼ100%の受診率と変わりなかった。乳児健診も80%程度と例年通りだった。今後も受診勧奨を強化し、必要な支援を実施していきたい。</p> <p>○ベビースクールは、子育て支援センター利用促進と母子の交流機会を増やす事を目的として、子育て支援センターで実施している。ベビースクールを卒業した後子育て支援センターを利用する母子も増えており会場変更の効果はあったと思われるため、今後も継続して子育て支援センターを会場として実施したい。</p> <p>○各乳幼児健診及び新生児訪問において子育てアンケート（虐待予防スクリーニング）を実施し、虐待リスクの早期発見対応、子育てニーズの把握を行っており、今後の子育て支援体制を検討していく資料としていきたい。</p> | | | |

| | | | | |
|------------------|--|---|-----|---------|
| 具 体 的 な 施 策 | 施 策 | ⑧ 小児期の健康診断や相談体制の充実 | 担当課 | 健康ふれあい課 |
| | 30年度の 取組状況 | <p>小中高生すこやか健診 実績 6回（延べ数165人 42.3%） 周知～小中学校、奈良江商業高校は学校を通じて個別通知し、小3・中1 の重点対象は電話勧奨実施</p> <p>健診結果説明会時の栄養相談及び試食会 実績 2回（延べ数68人） すこやかクッキング教室 実績 2回（延べ数57人）食生活改善推進協議会の協力により実施 こども運動教室 実績 2回（延べ数69人）うち1回は北翔大学の協力により実施</p> | | |
| | 今 後 の 方 向 性 等 | <p>○小中高生すこやか健診の受診率は前年度とほぼ同じであった。中学生の受診率は昨年度と比較すると減少したが、昨年度中学校を卒業した対象が高校生で受診したため、高校生の受診率が増加となった。今後も対象者の受けやすい健診体制を整備していきたい。</p> <p>○健診結果においては、中性脂肪や総コレステロールの有所見は依然として高く、成人の健診結果と同様の傾向がみられる。今後も子どもたちの健康づくりを通じて家族全員の健康づくりを進めていきたい。</p> <p>○健診の問診からは依然として野菜の摂取不足が見受けられるため、今後もすこやかクッキング教室等を通じて普及啓発していきたい。</p> <p>○こども運動教室の1回は、北翔大学の協力を得て実施しており、参加者からは、ニュースポーツなどいろいろなメニューが体験できると好評である。</p> | | |
| | 施 策 | ⑨ 歯科保健の充実 | 担当課 | 健康ふれあい課 |
| 30年度の 取組状況 | <p>親子虫歯予防教室 実績 1回（延べ数21人） 1.6歳児・3歳児歯科検診 実績 6回（延べ数59人 98.3%） 歯科検診・フッ素塗布 実績 6回（実人数76人 延べ数111人） 歯科保健指導 実績延べ数117人 フッ化物洗口 実績 年長児17人（81%） 小学生163人（87%） 中学生75人（64%）</p> | | | |
| 今 後 の 方 向 性 等 | <p>○ここ数年、歯科検診・フッ素塗布数が減少傾向にあるため、個別通知の際に普及啓発を目的としたチラシも同封しており、微増ながら人数は増加している。今後も内容の工夫を図り虫歯予防対策を強化していきたい。</p> <p>○フッ化物洗口は、平成28年度より年長児・小学生・中学生全学年までを対象としており、中学校の参加率が徐々に増加している。事業参加の保護者同意をもらう際（小1・中1）にフッ化物洗口の効果と歯の健康づくりについて普及啓発し参加者の減少予防を図ってきたい。</p> <p>○上記の他、5歳児健康相談等様々な機会でも歯の健康づくりについて普及啓発を実施している。</p> | | | |

| 具 体 的 な 施 策 | 施 策 | 担 当 課 | 健 康 ふ れ あ い 課 | |
|----------------|------------------|--|---------------|--|
| | 30年度の 取組状況 | ⑩ 予防接種事業の助成拡充 ・定期接種（A類疾病）については、全額助成を実施している。 ・任意接種については、おたふく（5,000円/回） 助成実績 29回 ロタ（15,000円/回） 助成実績 32回 季節型インフルエンザ 助成実績 416回 （妊婦・18歳未満＝1,300円/回 2回接種する場合は、2回目1,600円） | | |
| | 今 後 の 方 向 性 等 | ○定期接種については、適切な時期に接種できるよう未接種者へ個別勧奨しており、接種率は非常に高い状況である。今後も、個別勧奨などにより、予防接種の効果や必要性を普及啓発しながら未受診者対策に努めていきたい。 ○乳幼児を対象とした任意接種のおたふくとロタも、個別勧奨をしており接種率は良好である。今後も予防接種の効果や必要性を普及啓発していきたい。 | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | | (2) 特色ある学校教育の充実と基礎・基本の定着を図る | | | | | | |
|----------------|-----------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) |
| | 英語検定合格率 | - | 中学校 73% | 中学校 60% | 中学校 69% | 中学校 63.4% | 中学校 80% | 79.3% |
| | 漢字検定合格率 | - | 小学校 68.3% | 小学校 71.8% | 小学校 79% | 小学校 72.6% | 小学校 80% | 90.8% |
| | | | 中学校 58.5% | 中学校 34.9% | 中学校 27.6% | 中学校 28.6% | 中学校 80% | 35.8% |
| 奈井江商業高等学校入学者数 | 40人 | 35人 | 34人 | 34人 | 26人 | 40人 | 65.0% | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 学校教育への支援の充実 | | | | | 担当課 | 教育委員会 |
| | 30年度の取組状況 | <p>1. 保（幼）・小・中・高の密接な連携による教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校…高校生による夏休み学習サポート（3日間） ・中学校…高校による、情報モラル教室、ビジネスマー出前講座、技術科「プログラミング基礎講座」 ・中、高合同によるホワイトコンサート、保・小・中の教諭間連携（情報共有） ・小中乗り入れ授業の実施（中学校体育教諭による、小学校体育授業の実施。小学校教諭による中学校社会授業の実施） <p>2. ティームティーチングの指導の実施や習熟度別指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学年 小学4年生以上 ・対象教科 算数・数学、理科 ・一人一人の習熟に応じた指導の実施 <p>3. 外国語指導助手の活用による外国語授業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、小学校、中学校で英語教諭の助手として授業を実施 <p>4. 小学生低学年を対象にした英会話教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業時数の少ない低学年1,2年生を対象に外国語指導助手を活用して『英語教室』を町事業として実施。 <p>5. 英語検定・漢字検定受験料の助成（英検は、中学性のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定…小学校は全児童が授業で取組、中学校は希望者のみの受験。 小学校 H30-175名 中学校 H30-53名 ・英語検定…希望者のみの受験 中学校 H30-41名 <p>7. 奈井江商業高等学校の入学者や在校生への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27より通学費の助成を半額から全額に拡大、入学支援金を町内中学出身者に20万円、町外中学出身者に10万円、検定料助成などの支援 <p>8. 教員退職者などを活用した放課後学習指導の実施（平成28年度新規事業）</p> <p>「学ぶ習慣」「学ぶ意欲」を養うことを目的として、特別支援教育支援員を活用して、放課後学習指導を行う。 宿題や家庭学習、道教委で作成したチャレンジテストなど自習形式で、わからないところを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学年 小学生全学年 ・実施場所 図書室・理科室 ・実施回数 5回 ・実施時間 14時40分～15時20分 <p>9. 公設学習塾の開設（平成30年度新規事業）</p> <p>生徒や保護者と共に、家庭学習の定着化、併せて基礎基本の定着化による学力向上を図ることを目的とした公設学習塾の開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学年 中学生 ・実施場所 文化ホール・公民館 ・実施回数 1,2年生各10回、3年生20回 ・実施時間 14～17：50 | | | | | | |

| | | |
|--------------------|---------------------|--|
| <p>具体的な 施策</p> | <p>今後の 方向性等</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保（幼）・小・中・高の密接な連携による教育活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、幅広分野での実施に向け各学校と検討していく。 2. ティームティーチングの指導の実施や習熟度別指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒にきめ細かな指導ができ、できない子をつくらない指導にも繋がるため、今後も継続して教員の加配を要望していく。 3. 小学校全学年35人学級編制の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒にきめ細かな指導ができ、できない子をつくらない指導として効果が高いことから、継続して事業を行っていく。 ・H31-小学校3年生より町独自35人学級編制。 4. 外国語指導助手の活用による外国語授業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・早い段階から外国人の授業を経験することで、国際感覚やコミュニケーション能力が養われ、さらに、ネイティブ英語を聞くことで、聴覚的感覚を身に付けることができ、子どもたちの将来を見据えた効果の高い事業と考えられることから、今後も継続して実施していく。 5. 小学生低学年を対象にした英会話教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・小さなときから継続して英語に慣れ親しみ、興味を持たせることは、英語の能力の向上にもつながるので、今後も実施していく。 6. 英語検定・漢字検定受験料の助成（英検は、中学性のみ） <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の全生徒が受験できる体制づくりへ向け、学校と検討していく。 7. 奈良江商業高等学校の入学者や在校生への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・町の支援や商業高校のPRにより、受験者が増加している。今後も存続に向けた取組は継続するが、内容については検討する必要がある 8. 教員退職者などを活用した放課後学習指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年より、小学校における3,4年生の外国語活動（35時間）、5,6年生の外国語授業（70時間）が始まることを受け、放課後における活動時間の確保が難しくなっているため、他の事業に振り替えるなど検討していく。 9. 公設学習塾の開設 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生対象 |
|--------------------|---------------------|--|

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| | | | | | | | | |
|-------|--|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|--------------------|
| 基本目標④ | 健康で安心なくらしを守り、生きがいのある「まち」づくりを目指す | | | | | | | |
| | 職業や年齢に関わらず、だれもが安全で安心して住み続けられるまちづくりを進めるとともに、職業や立場を問わず、町内の様々な世代が交流し、人や企業・団体、町の協働によるまちづくりを目指します。 また、広域連携等を通じて、近隣市町との連携をさらに深めていきます。 | | | | | | | |
| 数値目標 | 指 標 | 基 準 値 (H26) | 実 績 値 (H27) | 実 績 値 (H28) | 実 績 値 (H29) | 現 状 値 (H30) | 数 値 目 標 (H31) | 達 成 度 (H30:H31) |
| | 転出者数 | 203人 | 191人 | 160人 | 193人 | 186人 | 190人 | 102.2% |

| | | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------------|--|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|--|
| 基本的な方向 | (1) 一人ひとりの健康づくりに対する支援を充実させる | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数 値 目 標 項 目 | 基 準 値 (H26) | 実 績 値 (H27) | 現 状 値 (H28) | 現 状 値 (H28) | 現 状 値 (H29) | 目 標 値 (H31) | 達 成 度 (H26:H31) | |
| | 健康だと思う人の割合 (健康意識アンケート) | 79.8% | - | - | - | - | 85% | - | |
| 具体的な施策 | 施 策 | ① 健康づくりの推進 | | | | | 担 当 課 | 健康ふれあい課 | |
| | 30年度の取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育 (回数120回 人数2,574名) ・健康相談 (回数378回 人数5,218名) 平成30年度は、「健康づくり運動の推進」を重点事業とし、ライフサイクルに応じて効果的に健康教育・健康相談を実施した。 ・家庭訪問実施状況 790件 ・健康診査 235名 ・がん検診 (胃がん269名 肺がん352名 大腸がん393名 乳がん216名 子宮がん213名 前立腺がん69名) | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 28年度から10年間の健康づくりの行動計画である「第2次奈井江すこやかプラン21」を土台に、計画に定められた各年の重点事業を着実に遂行し、次期健康意識調査においてKPIが目標値に到達するよう推進していく。令和元年度は、「生活習慣病予防・禁煙推進」を重点事業として推進をしていく。 | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | (2) 安心して生活できる基盤整備を推進する | | | | | | | | |
|----------------|------------------------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|--|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | 認知症サポーター養成者数 | 377人 | 456人 | 478人 | 482人 | 482人 | 500人 | 96.4% | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 医療・介護サービスの推進 | | | | | 担当課 | 健康ふれあい課 | |
| | 30年度の取組状況 | 介護予防サポーター交流会を通し、地域を支えるための、生活支援サービス内容の検討を実施。(4回) 95名 住民支え愛推進会議にて、必要な支援内容の意見交換を実施。(第1回 平成30年8月31日 25名 第2回 平成31年2月28日 27名) 市民後見人養成講座修了者に対して、NPO中空知後見センター等で行っている講演会等を紹介した。 | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 地域包括ケアシステムを推進するため、30年度に引き続き在宅医療・介護連携事業と認知症初期集中支援チームを活用し、支援体制の強化に努める。 令和元年度成年後見制度の研修会を実施し、制度の普及啓発を行い、必要時手続きの情報提供を行い関係機関へ繋げる。認知症サポーターを対象にスキルアップを目的とした講演会の実施予定。(1回/3年) | | | | | | | |
| | 施策 | ② 高齢者見守り体制の充実 | | | | | 担当課 | 健康ふれあい課 | |
| | 30年度の取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急通報装置設置事業 新規設置数 3台 ※総数34台 (うち 従来機種8台 シルバーホン26台) 高齢者見守りサービス事業 (7事業所) 奈井江町 SOSネットワーク事業 (登録者2名) | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 緊急通報装置設置事業については、今後も必要な世帯には適切に設置できるよう事業内容の周知に努めたい。また、高齢者の見守り体制を充実するため見守り協定締結している団体との連携強化及び新たな事業所と見守り協定を提携を進めていく。さらに必要な人が制度を活用できるよう奈井江町 SOSネットワーク事業事前登録制度の周知を強化していきたい。 | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | (3) 町民のコミュニティ形成を推進する | | | | | | | | |
|----------------|----------------------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|--|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | コミュニティカフェの設置 | - | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 100% | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① コミュニティカフェ運営事業 | | | | | 担当課 | 健康ふれあい課 | |
| | 30年度の取組状況 | 4月～3月実績（営業日数240日 延べ利用人数5,435名） カフェボランティア活動（傾聴ボランティア78日間 延べ155名参加）（まちの先生事業41回 385名参加） | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 地域のつながりや町民の交流の場としての役割や利用者の定着もある。今後も地域の憩いの場として機能するように、住民が主体となり展開する活動（まちの先生事業）などのボランティア活動の啓発等後方支援を実施する。 | | | | | | | |
| 具体的な施策 | 施策 | ② 地域公共交通の利用促進 | | | | | 担当課 | まちづくり課 | |
| | 30年度の取組状況 | 住民生活を支える地域公共交通の維持、確保を図り、利用しやすいダイヤの実現や利便性の向上を図り、利用の増加に取り組む ・公共交通3路線 ①町営バス（市街地循環線、向ヶ丘線） 市街地循環線 目標値 1,470人/年 実績値 1,246人/年 向ヶ丘線 目標値 7,300人/年 実績値 7,708人/年 ②乗り合いタクシー 目標値 980人/年 実績値 1,069人/年 | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | ○ 町営バス（市街地循環線）については、国庫補助基準の引き上げに伴い、目標値を前年よりも高く設定したため84.8%の達成率となったが、前年と比較し10%ほど利用者の増加しており、乗降調査等によりニーズを的確に把握し、ダイヤ改正の検討も含め、利便性向上を継続的に努める。 ○ 町営バス（向ヶ丘線）については、温泉施設の営業再開があり、利用者数は目標値の105.6%となった。今後も継続的な広報・周知の取り組み、乗降調査等により、ニーズを的確に把握し、ダイヤ改正の検討も含め、利便性向上を継続的に努める。利用者数増加に努める。 ○ 乗り合いタクシーについては、平成28年4月から全エリアで毎日利用できる運用を整備し、目標を大きく上回る利用があった。今後においても利用者のニーズを的確に把握し、利用者増加に努める。 | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| | | | | | | | | | |
|----------------|---------------------------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|--|
| 基本的な方向 | (4) 地域連携による経済・生活圏の形成を推進する | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | 広域的取組 | 11事業 | 11事業 | 11事業 | 11事業 | 11事業 | 11事業 | 100.0% | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 自治体広域連携の推進 | | | | | 担当課 | まちづくり課 | |
| | 30年度の取組状況 | <p>平成30年度も11事業を広域的に行うとともに、定住自立圏域の市町村（5市5町）が連携し、各市町の人材不足解消と人材流出抑制を目的に「しごと」に関する魅力等の情報発信と併せて、この圏域だからこそ実現できるライフスタイルなど幅広い“暮らし”の選択肢や四季を通じたレジャー環境などのPRを実施した。</p> <p>【連携団体】9団体 中空知広域市町村圏組合 5市5町、空知中部広域連合 1市5町 中空知広域水道企業団 3市1町、石狩川流域下水道組合 6市6町 砂川地区保護衛生組合 2市3町、空知教育センター組合 管内全市町 奈井江・浦臼学校給食組合 2町、砂川地区広域消防組合 1市3町 中・北空知廃棄物処理広域連合 5市9町</p> <p>【連携事業】11事業 ことばの教室、児童デイサービス事業、特別支援教育推進協議会、施設の相互利用 保育所広域入所、医療連携、有害鳥獣対策連絡協議会、消費者相談業務 旅券の発給申請受理・交付事務、戸籍電算システム共同運用、公平委員会</p> | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 今後も各種公共サービスの向上及び利用促進を図り、中空知の経済・生活圏の形成を推進するため連携事業の維持、継続を行う。 | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | (5) 住民と一体となった防災・救急体制の充実を図る | | | | | | | | |
|----------------|----------------------------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|---|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | | 消防団員数 | 47人 | 47人 | 47人 | 44人 | 人 | 55人 | % |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 防災・救急体制の充実 | | | | | 担当課 | まちづくり課 | |
| | 30年度の取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> 救急出動369件(奈井江279件・浦臼86件・その他4) 火災出動3件(奈井江1件・浦臼2件) | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | <ul style="list-style-type: none"> 火災に対する職員訓練を継続して行い、町民の生命財産に対する被害軽減に努めていきたい。 年々増加する救急件数に対し約半数が軽症症例であるため、地域住民に救急車の適正利用の促進広報活動を実施し、救急車が緊急性のある傷病者に適宜対応できる本来あるべき救急体制の再構築に努めていきたい。 | | | | | | | |
| | 施策 | ② 防火・救命活動の推進 | | | | | 担当課 | まちづくり課 | |
| | 30年度の取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> 防火訪問 3回(奈井江 2回・浦臼 1回) 避難訓練91回(奈井江61回・浦臼30回) 予防広報 6回(奈井江 3回・浦臼 3回) 救命講習18回(奈井江15回・浦臼 3回) | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | <ul style="list-style-type: none"> 災害の未然防止や被害の軽減を図るため防火訪問や避難訓練を実施するとともに予防広報を通じて住民の防火意識の更なる向上を目指します。 救命率の更なる向上を目的に救命講習会を実施するとともにAED設置事業所と不特定多数が出入りする事業所に対し積極的に救命講習会の開催を促進いたします。また職員の知識、技術の向上を目指した訓練や研修会にも積極的に参加致します。 | | | | | | | |

| 具 体 的 な 施 策 | 施 策 | 担 当 課 | ま ち づ くり 課 |
|------------------|--|--|------------|
| | | ③ 消防団の充実・強化 | |
| | 30年度の 取組状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団単独の訓練に加え、町内事業所と合同で避難、放水訓練を実施した。 ・法令改正により地方公務員(役場職員)が年次消防団へ加入する。 | |
| 今 後 の 方 向 性 等 | <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取り組みを継続的に実施するとともに積極的に消防団員加入推進活動を進めています。 | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| 基本的な方向 | (6) スtockマネジメントの強化を図る | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|------|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | | 公共施設総合管理計画の策定 | - | 策定中 | 策定済み | 策定済み | 策定済み | 策定済み | 100% |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 公共施設の維持管理適正化の推進 | | | | | 担当課 | くらしと財務課 | |
| | 30年度の取組状況 | 平成28年度に公共施設総合管理計画を策定。各課と連携を図りながら、各施設の適正な維持・管理を行った | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 奈井江町行政推進会議を本計画の推進組織として位置付け、全庁的な公共施設等マネジメントの推進を図るとともに、必要に応じて方針の改定や目標の見直しを行う。 また、本計画の管理組織として、公共施設等マネジメント対策チームを設置し、庁内関係各課との連携、調整を図りながら、本計画の適切な管理を進め、町民との協働により問題解決に取り組む。 | | | | | | | |

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

| | | | | | | | | | |
|----------------|---------------------------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|--|
| 基本的な方向 | (7) 医療・介護と住まいの一体的な環境を整備する | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 数値目標項目 | 基準値 (H26) | 実績値 (H27) | 実績値 (H28) | 実績値 (H29) | 現状値 (H30) | 目標値 (H31) | 達成度 (H30:H31) | |
| | サービス付き高齢者向け住宅の整備 | - | - | 1ヶ所 | 1ヶ所 | 1ヶ所 | 1ヶ所 | 100% | |
| 具体的な施策 | 施策 | ① 奈井江版CCRC (生涯活躍のまち) 構想の推進【再掲】 | | | | | 担当課 | まちづくり課 | |
| | 30年度の取組状況 | ラウンジ (地域交流拠点) を活用し、入居者対象のお菓子づくりを定期的で開催するとともに、かおる園横の畑を家庭菜園として入居者に解放している。また、入居者や入居者の家族を対象にミニコンサートも実施し、入居者同士の交流に努めた。 | | | | | | | |
| | 今後の方向性等 | 依然、入居者の健康状態の善良な方の入居者少ないことから、サ高住入居者を活用した構想の策定ができない状況。今後も状況が急展開する可能性が低いことから、新たな方向性の模索をしていく。また、入居者が施設内に留まらないような取組の仕組みづくりも行う必要がある。 | | | | | | | |